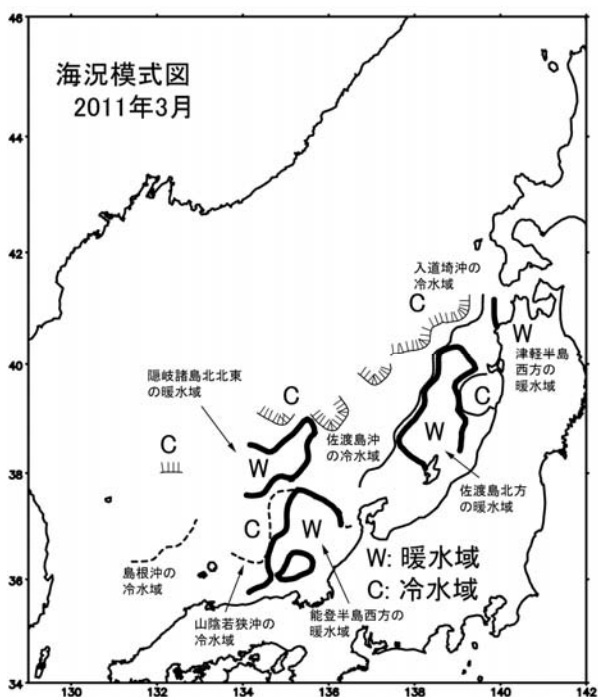


平成23年度 第1回 日本海海況予報

一別表の水産関係機関が検討し独立行政法人水産総合研究センター
日本海区水産研究所がとりまとめた結果一

今後の見通し (2011年4月~6月) のポイント

- ・ 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”~“かなり高め”で経過する。
- ・ 対馬暖流域の50m 深水温は、西部及び北部とも“平年並み”で経過する。



2011年4月~6月の海況

- 隠岐諸島北北東の暖水域は、南下して隠岐諸島北東に勢力を拡大する。
- 能登半島西方の暖水域は、東方に移動して能登半島西部沿岸~佐渡島南方に分布する。
- 佐渡島北方の暖水域は、勢力を弱めながら一部は男鹿半島西岸に移動する。
- 津軽半島西方の暖水域は、弱体化する。
- 隠岐諸島西方に新たな暖水域が形成される。
- 島根沖、山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや弱め。
- 佐渡島沖、入道埼沖の冷水域の張り出しは、平年並みで経過する。

問い合わせ先

独立行政法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所 業務推進部

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先 URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>

平成23年度 第1回 日本海海況予報

1. 今後の見通し(2011年4月～6月)

- (1) 隠岐諸島北北東の暖水域は、南下して隠岐諸島北東に勢力を拡大する。能登半島西方の暖水域は、東方に移動して能登半島西部沿岸～佐渡島南方に分布する。佐渡島北方の暖水域は、勢力を弱めながら一部は男鹿半島西岸に移動する。津軽半島西方の暖水域は、弱体化する。隠岐諸島西方に新たな暖水域が形成される。
- (2) 島根沖、山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや弱め。佐渡島沖、入道埼沖の冷水域の張り出しは、平年並みで経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”～“かなり高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み”で経過する。

2. 経過(2010年11月～2011年2月)

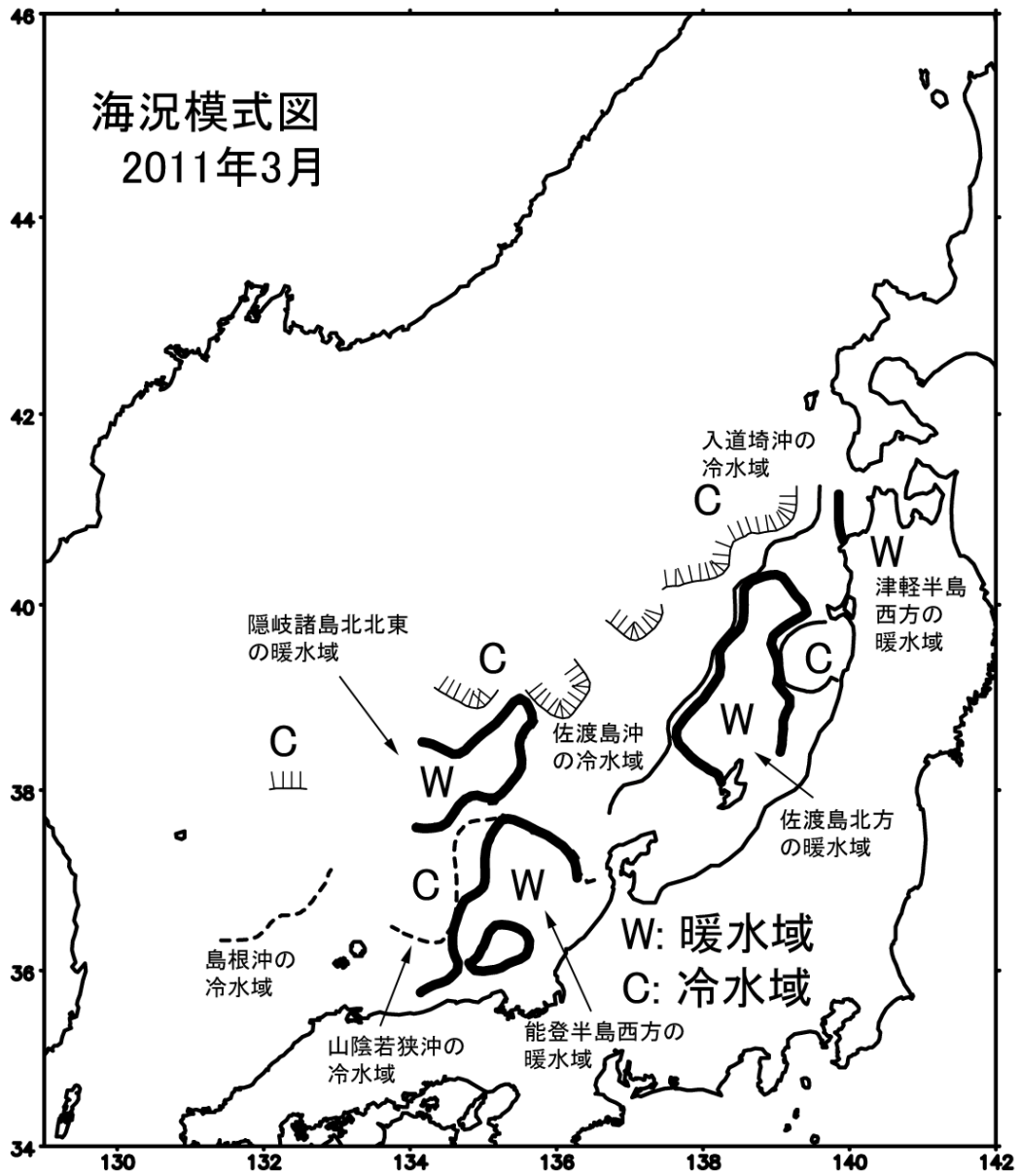
- (1) 11月に隠岐諸島北西にみられた暖水域は、消失。11月に隠岐諸島東方にみられた暖水域は東進し、2月には能登半島西方に移動。11月に佐渡島北西にみられた暖水域は北東に移動し、2月には佐渡島北方～山形沖に分布。12月に富山湾付近に暖水域が形成され2月まで勢力を維持。
- (2) 島根沖の冷水域は、11月には規模ははなはだ小さくかなり離岸。12月にははなはだ小さく接岸状況は平年並み。2月には規模は平年並みでかなり離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、11月には規模・接岸状況とも平年並み。12・2月には規模は平年並みでやや離岸。佐渡島沖の冷水域は、11月には規模はやや小さくはなはだ離岸。12月にはやや小さく接岸状況は平年並み。2月には規模・接岸状況とも平年並み。入道埼沖の冷水域は、11・12月には規模・接岸状況とも平年並み。2月にはやや小さく接岸状況は平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
11月：山陰沖、能登半島～佐渡島周辺、津軽半島西方などで“やや高め”～“かなり高め”、隠岐諸島北東域で“やや低め”。
12月：日本海沿岸域で概ね“やや高め”、沖合域で“平年並み”。
2月：山陰～能登半島で概ね“やや低め”～“かなり低め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部は“平年並み”、北部は“やや高め”(11月)。

3. 現況(2011年3月)

- (1) 暖水域は、隠岐諸島北北東、能登半島西方、佐渡島北方、津軽半島西方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模はやや小さく接岸状況はやや離岸。山陰・若狭沖、佐渡島沖の冷水域は、規模・接岸状況とも平年並み。入道埼沖の冷水域は、規模は平年並みでやや接岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、日本海の東北沿岸及び山陰沿岸の一部で“やや低め”、佐渡島北西沖合で“やや高め”である以外は概ね“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み”。

(註) 引用符(” ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- ”はなはだ高め(低め)” : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ)
- ”かなり高め(低め)” : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ)
- ”やや高め(低め)” : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ)
- ”平年並み” : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温



2011年3月の海況模式図

参 画 機 関

| | |
|--|------------------------------------|
| 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場 | 京都府農林水産技術センター 海洋センター |
| 地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所 | 兵庫県立 農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター |
| 秋田県農林水産技術センター 水産振興センター | 鳥取県水産試験場 |
| 山形県水産試験場 | 島根県水産技術センター |
| 新潟県水産海洋研究所 | 山口県水産研究センター |
| 富山県農林水産総合技術センター 水産研究所 | 社団法人 漁業情報サービスセンター |
| 石川県水産総合センター | 独立行政法人 水産総合研究センター 日本海区水産研究所 |
| 福井県水産試験場 | |